



## 夢いっぱい！ 「ギャラリー電車」(11/2)



小学生や幼稚園児の手による市電の絵を車内に展示した「ギャラリー電車」が、11月2日から9日までの8日間にわたって運行されました。

展示されたのは、中央区主催の「市電の絵作品コンクール」の優秀作品賞に選ばれた50点。動物の形をした市電や海の中を走る市電など、子どもたちの感性あふれる作品の数々に、乗客も見入っていました。

## わが街の芸術家たちが 力作を披露！(11/14)



区民が制作した絵画や書道の作品を集めた「中央区民美術・書道展」が、11月14日から20日まで行われました。

出品されたのは、風景画や抽象画など絵画42点と見事な筆遣いで書かれた漢詩や和歌などの書16点。会場を訪れた市民は、「すごいね」、「こんなに上手に書けたら楽しいだろうな」などと感心しながら、作品を鑑賞していました。

## 未来へのメッセージを カプセルに保存！(11/9)



開校50周年を迎えた日新小学校で、「開校50周年をお祝いする会」が行われ、会の最後には児童が書いた未来の自分へのメッセージや、写真などをタイムカプセルに収めました。

カプセルを開けるのは20年後です。将来の夢は「学校の先生かお医者さん」という林紗矢さんと「漫画家」という小笠原紗里さん。今から開けるのが楽しみと話していました。

## 美しい音楽を聴いて ふれあいを深めよう(11/17)



中央区主催の「ふれあいコンサート」が、札幌コンサートホールKitaraで開かれ、家族連れなど約1,500人が演奏を楽しみました。

7回目の開催となる今回は、札幌旭丘高校の合唱部と札幌交響楽団が出演する2部構成で行われました。観客は、合唱部の美しいハーモニーと札幌によるクラシックの美しい音色を堪能しました。